

横須賀市議会議員

長谷川 昇

市政報告



はせ  
どん 長谷川 昇  
はせがわ のぼる

2019年4月～横須賀市議会議員三期目当選  
所属:教育福祉常任委員会・議会運営委員会等  
所属会派:「よこすか未来会議」(12名)  
事務所:〒238-0012 横須賀市安浦 2-33-1-102  
Tel: 080-4383-1633 fax: 046-854-9529  
E-Mail:hasedon2@gmail.com  
はせどんホームページ<http://hasedon.info/>

## ☆教員免許更新制は廃止!

▼11月27日、県内の教員出身議員で構成された「かな政連」議員として、文科省の担当者らと2022年度教育予算の概算要求や教員免許更新制について懇談しました。▼制度については改めて「失効を伴う免許更新制は廃止する。」と確認しました。また、「教育現場の変化に対応した新たな研修へと発展的解消していく。」と回答がありました。▼この制度は教育現場からの大反対を押しきって通した天下の悪法であり、「ようやく終わらせたか。」というのが本声です。更新講習を受けないと教壇に立てない休眠免許への対応、新たな研修についての考えなども質問しました。

▼12月3日に行われた、市議会の教育福祉常任委員会でも、教員免許更新制についての市教委の認識を確認し、今後文科省からの通知があり次第、制度変更の周知を丁寧に行うことを確認しました。

## ☆沖縄で軽石の被害を確認してきました。



▼長谷川昇後援会の皆さんとの沖縄研修の際に、小笠原諸島近海での海底火山噴火による軽石被害の様子を検証するために海岸線を視察しました。▼写真は、沖縄本島西海岸の名護の北、奥武島付近の海岸で撮影したものです。軽石は大きなものでも直径5cm程度。小さいもので数mm。丁度北風が吹き海岸に押し寄せていました。▼11月14日には、真喜屋の浜は沖合60m近くまで軽石で埋まっていた。地形上、北風が吹くと国頭地区から流れてこの辺りに溜まります。美しい

白い砂浜が、灰色の火山灰のような軽石に占領されてしまったようです。軽石だけに水に浮いて漂っているのですが、水を弾く性質があるようで、油が水に浮いているような動きをしています。沖縄の海岸での被害は計り知れません。珊瑚、魚、海藻、等、生態系への影響も想定されます。今後の噴火も想定され、沖縄に限らず、太平洋沿岸の漁業者も、心配が尽きないと思います。政府及び自治体の対応が望まれます。



## 新潟大学の世取山洋介教授の訃報が届きました。

▼三教組の教育研究集会の共同研究者としても15年以上ご協力いただいた新潟大学の世取山さんの訃報が届きました。専門は子どもの権利に関する事であり、ユネスコにおける権利条約専門委員としての経験をもとに、さまざまな角度から教えていただきました。▼子どもの権利の肝は「先生あのね。」です。子どもが自分の内面にある思いを外の大人たちに伝え、その声を周りが大切に受け止める環境づくりが必要であり、「だから、子どもに一番近い先生こそ大事なんだ。」と熱く語っていました。▼また、昨年12月には「よこすか子どもの権利を守る条例」の制定に向けた第一歩として、私たちの会派でオンライン学習会を行い、その講師を世取山さんをお願いし、子どもの権利条例の全国状況と課題をお聞きしました。その際には、「横須賀は、児相を独自に持っていることは大変な強みですよ。」とご指摘いただきました。▼「よこすか子どもの権利を守る条例」は議会内で協議会を作り、さまざまな議論を経てパブリックコメントを実施し、2022年の春には条例として制定の見込みがでてきたところです。ご冥福をお祈りいたします。



## ☆長坂緑地周辺の復田が進んでいます。



▼大楠山の谷合を走る芦名坂本線の県最終処分場の反対側にある「風早の谷」と称する場所に田んぼがあります。その場所でNPO法人三浦半島生物多様性保全の皆さんが、大楠山から湧き出る清水を使ってお米をつくっています。▼先日、その田んぼの上流にあった耕作放棄地を南葉山霊園のそばまで、数百メートルにもわたり、復田したと聞き、歩いてみました。▼風早の谷という看板から、道沿いに上

流に向かって歩くと、棚田の様に次々と田んぼが並んでいます。今年のお米が取れたのでしょう、稲穂が並んで干してありました。▼田んぼを復田するのは大変な作業でしょうが、代表の天白さんはじめ、参画している市民ボランティアの皆さんの努力に地元民のひとりとして改めて感謝します。

## ◎12月議会報告

### ★横須賀美術館の市長部局移管、犯罪被害者基本条例等が成立。

▼12月議会は、11月29日から12月14日の16日間の日程で行われました。▼本議会では、新型コロナウイルスに対しての3回目のワクチン接種に関する予算が可決しました。▼また、教育福祉常任委員会では、市民病院・うわまち病院の指定管理について質問しました。この10年で、市民病院の小児科が縮小され、うわまち病院に重点化されたことから、今後、二つの市立病院を同一の指定管理者とすることについて、見解を問い、「今後、メリット・デメリットをふまえたうえで、指定管理の見直しも検討していく。」という主旨の答弁がありました。

▼横須賀美術館が教育委員会から市長部局に移管されました。また、長谷川昇が副委員長として、1年半の間審議をしてきた犯罪被害者対策基本条例が可決成立し、2022年4月1日より施行されます。